

## コラム：耐震改修 / 木造住宅編

あなたの家は大丈夫ですか？昭和56年（1981年）以前に建築された家は要注意。

建築基準法には耐震基準があります。この基準は、国内で大きな地震が起こるたびに時には大きく時には微妙に改正され続けています。

現行の基準は「新耐震基準」と呼ばれ、昭和57年（1982年）以降に建てられた家に適用されているので、それ以前に建てられた家に関してはいささか問題ありと見なされています。

ただし、つくり手が基準以上の耐震性を施している事実もありますので、すべての家が問題を抱えているとは言い切れません。

でも素人の目では耐震性を測ることはできませんので、目安としてご自宅が建築された年を確認しましょう。もう少し詳しく調べたい方は以下の耐震チェックポイントをご活用ください。




木造住宅の耐震補強

### 誰でもできる耐震10問チェック / 木造住宅編

最終的には専門家の判断が重要ですが、自分でもできる簡単なチェックからはじめてみましょう。

右の10項目のチェックリストで、7項目にチェックが入った方は専門家の調査を受けることをお勧めします。

- 1981年5月以前に建てた。
- 大きな吹抜けがある。
- 大きな災害に見舞われた。
- 1階と2階の壁の位置が一致しない。
- (床下・上浸水、車の衝突、地震)
- 東西南北の外壁に壁がない面がある。
- 増築を2回以上行い、壁や柱を抜いた。
- 和瓦・洋瓦など重い屋根材である。
- 外壁にひび割れや白蟻の被害があった。
- コンクリートの基礎ではない。
- L型やT型などの複雑な平面形状。

 こんにちは！  
私たちがゴーイング・グリーンです。



ゴーイング・グリーンのスタッフ

### 長くつきあう やさしいエコリフォーム

「ゴーイング・グリーン」とは「地球にやさしくしよう！」を意味する言葉です。

ガス会社の米山商事が、エコの気持ちのこもった言葉を、リフォーム事業部のブランド名にしました。1969年の創業から、これまで培ってきたサービスとノウハウを活かし、お客様の住まいへの想いやお悩みを共有し、快適な暮らしを共に考えていきます。



米山商事社屋

家は応急処置的な修繕ではなく、個々のお悩みやニーズをよく理解して、長く役に立つリフォームをご提供すること。それがご家族の成長や暮らしを支えると同時に、家そのものが家族の一員として育つことにつながると私たちは信じています。ゴーイング・グリーンは、お客様ひとりひとりの日常的・定期的なコミュニケーションを通じて理解した住まいへのお悩みやニーズに対し、安全・質・エコにこだわったリフォームサービスをご提供いたします。



ゴーイング・グリーンのリフォーム現場

お問い合わせ・ご相談・見積はこちらまで。

 0120-025-218 9:00~20:00  
日・祝除

E-mail : [info@goinggreen-reform.com](mailto:info@goinggreen-reform.com)

〒223-0057 横浜市港北区新羽町1526

株式会社 米山商事

ヨネヤマの長くつきあうエコリフォーム  
 Going Green  
ゴーイング・グリーン



リフォーム・ライフスタイルマガジン Vol.01

## 暮らしのカタチ

WEBサイト : <http://goinggreen-reform.com>

株式会社 米山商事

ヨネヤマの長くつきあうエコリフォーム  
 Going Green  
ゴーイング・グリーン

2016.7 創刊号

## 家族の絆と耐震改修

これから絆を深めていくご家族もいらっしゃるれば、これまでの絆を広げていくご家族もいらっしゃると思います。住まいとはかけがえのない思い出そのもの。これから巣立つお子様も、すでに巣立ったお子様も、いつまでも残しておきたい特別な場所だと思います。

「暮らしのカタチ」創刊号は、家族の絆をひときわ感じた2つの事例をご紹介します。

# 家族の絆が深まる回遊式キッチン

物理的な寒さをモノで解決し、心の寒さは家族のつながりで解決。

横浜市S様邸  
期間：1.5カ月  
予算：620万円  
キッチン トイレ 収納 浴室



リフォーム後：キッチン (LIXIL)



リフォーム後：システムバス (トクラス)

## 「もっと使いやすくしたい」という思い

昔からこの場所に住まわれている大奥様と、息子様夫婦とお子様2人の5人でお住まいのS様。築30年で老朽化も進み、傷んだ箇所も目立ってきたのがリフォームのきっかけに。長い間住まわれている中で特にキッチンには「もっと使いやすくしたい」という思いがありました。



リフォーム前：左からトイレ、キッチン、洗面室

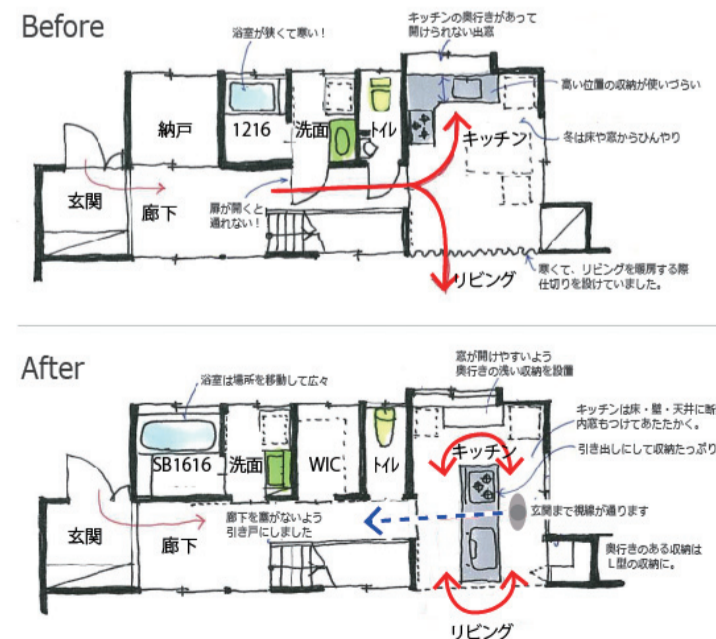


リフォーム後：左から洗面室・洗面台 (LIXIL)、トイレ (TOTO)



## 家族の交流の場となったキッチン

「手が届かない出窓をもっと活かしたい」  
「使いやすいたっぷりとした収納が欲しい」  
「床が抜けそうな部分を修理したい」  
「みんなで囲んで調理ができたら最高！」  
これをすべて叶えるプランとして今回ご提案したのが「回遊できるアイランドキッチン」。この配置で奥様は背中を向けずにみんなの帰りを待つことができます。玄関からリビングへ行く際必ず通るキッチンが、家族の交流の場となることでしょう！



担当：植田



# 次世代へ住み継ぐための耐震改修

中心となって計画を進められたのは、既に独立された息子様でした。

横浜市O様邸  
期間：2カ月  
予算：800万円

リビング ダイニング キッチン  
トイレ 洗面 浴室 耐震



リフォーム後：洗面室



リフォーム後：トイレ (TOTO)

## きっかけはお母様への心遣い

数年前に息子様は、横浜市が実施している耐震改修工事の補助金対象に築48年のご実家が該当するという話を聞き、不安を抱えておられました。きっかけは平成23年3月11日のあの東日本大震災。既に息子様は独立されていましたが、地震をきっかけに将来を改めて考えるようになり、施主のご両親に代わって耐震改修工事の資料集め、リフォーム計画にも積極的に関わって頂きました。



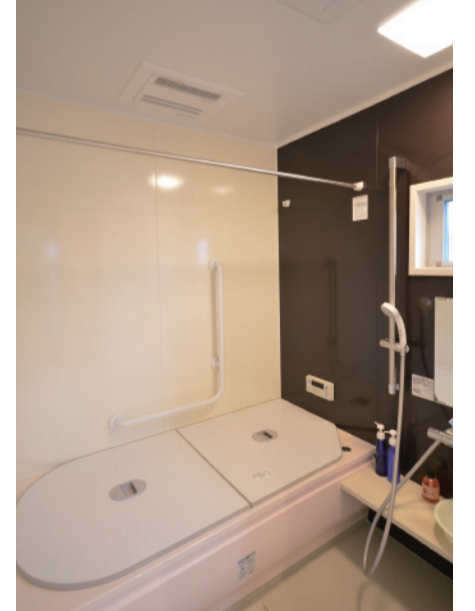
耐震補強の壁

リフォーム前：洗面室

リフォーム前：キッチン



リフォーム後：左からキッチン (LIXIL)、洗面室・洗面台 (TOTO)、システムバス (TOTO)



## バリアフリー改修も重要なテーマでした。

メインテーマは耐震補強ですが、今後も安心・快適に過ごすために、バリアフリー改修も重要なテーマでした。まず一番のご不満は、「トイレへの動線」でした。寝室は玄関から一番奥にあるのですが、トイレは玄関のすぐ横にあり、キッチンやダイニングを通らないとトイレまで辿りつかないという配置でした。二番目のご不満は、「在来浴室の段差や狭さ」でした。この2つを解消すべく、寝室から直接アクセスできる位置にサンタリールームを新設。トイレと洗面にはあえて仕切りを設けずに、介護もしやすいプランに改修されました。



担当：植田

